

関西地区講演会のご案内  
◆ 当協会の会員でない方も参加できます ◆

テ ー マ 「IFRS概念フレームワーク」から見る  
財務報告の今後

講 師 し み ず や す ひ ろ  
清水 泰洋 氏

神戸大学大学院経営学研究科 准教授

日 時 平成 22 年 9 月 24 日 (金) 16:00~17:30 (受付開始 15:30)

会 場 大阪銀行協会 第 2 研修室 (大阪市中央区谷町 3- 3- 5) [地図](#)

参 加 料 無 料 : ① 日本証券アナリスト協会  
検定会員 (CMA)、国際公認投資アナリスト (CIIA)、  
一般会員 (当協会個人会員)、法人・賛助会員の役職員、  
検定会員補 (CCMA)、通信教育講座受講者、IR クラブメンバー、大学生  
② 後援団体  
日本証券業協会会員の役職員、大阪証券取引所上場会社の役職員

1,000 円 (消費税込) : 上記以外の方。当日会場にてお支払下さい。

後援団体 日本証券業協会、(株)大阪証券取引所

申込方法 <ホームページからお申込みの方>

お申込みは [こちらをクリック](#) し、該当講演会の「受付中」をクリックして下さい。  
参加申し込み完了メールを「参加証」として印刷し、当日受付に提出して下さい。  
[マイページ登録 \(ID・パスワード取得者\)](#) している方は、[マイページからお申込み下さい](#)。

<FAX でお申込みの方>

ホームページからプリントアウトした申込フォームに記入し、協会事務局あて FAX し  
て下さい。当日は FAX 済用紙を受付に提出して下さい。

問合せ先 : 日本証券アナリスト協会 大阪支部  
FAX 06-6231-1426 TEL 06-6231-6234

平成 22 年 9 月 17 日 (金) までにお申込み下さい。

わが国でも IFRS (国際会計基準) の採用に向けた検討が行われており、その内容を知ることが証券アナリストにとって重要となっています。こうした中、神戸大学大学院経営学研究科 准教授の清水泰洋氏を講師にお迎えして、次のようなお話をさせていただきます。

『IFRS は収益認識基準やのれんの償却問題など個別の基準の会計処理で論じられることが多いですが、その背後にあるのは「概念フレームワーク」です。現行の概念フレームワークと修正草案を手掛かりに、IFRS の目指す財務報告と日本の会計に迫られた考え方の転換について論じます。』

◆ 講師略歴 ◆

清水 泰洋 氏

1995 年神戸大学経営学部卒業、2000 年神戸大学大学院経営学研究科修了、同年同研究科助教授、2007 年同研究科准教授。著書に『アメリカの暖簾会計—理論・制度・実務—』(中央経済社)。